

# あおもり



【発行】青森市PTA連合会  
広報委員会

【児童数】	17,568人
小学校	11,391人 (42校)
中学校	6,177人 (19校)
【教職員数】	1,455人
小学校	927人
中学校	528人
【合計】	19,023人

【発行部数】17,300部



青森市PTA  
連合会HP



株式会社アクト  
act.inc



製作者 内山 龍星

巨大な鯨の姿をした大鯨は、地下に棲み、身体を揺さぶることで地震を引き起こすと、古来より信じられてきた日本の伝説の生き物である。人々は大きな地震が起こるたび、大鯨が地中で暴れているためと恐れられた。困り果てた人々が鎮魂の祈りを捧げた。すると、神の世界の最高位の龍神が現れた。龍神は、天候や潮の流れ、地熱などを操り、大きな地震を起こす元凶となる大鯨を勇猛果敢に対峙した。その後、平和が訪れ、人々は平穏に暮らすことができた。このねぶたは、大鯨の前に龍神が現れ退治する場面である。昨今、地震の国と言われる日本では「令和6年能登半島地震」をはじめ大きな地震が幾度も起きている。このねぶたは、これ以上、大きな地震が起きないよう、皆が安心して暮らさしができることを切に願うものである。

## 龍神と大鯨



「龍神と大鯨」下絵デザイン  
甲田中2年 高橋悠真くん



【能登半島で被災された子どもたちを青森ねぶた祭に招待しようプロジェクト】として、石川県志賀町の子どもたちもねぶたに参加。忘れられない思い出の日になりました。



ねぶた実行委員長 三國 航  
令和6年度のねぶた事業は、前年度「雇っぶねぶた」から奇跡の復活を成し遂げ、市P連として、ねぶた事業をどのように継承していくかが問われるような年度となりました。本年度は、児童生徒から大型ねぶたの題材を募集し「龍神と大鯨」という題材で出陣しました。この大型ねぶたに対する敬意と亡くなられた方への鎮魂を込め、ねぶた師内山龍星先生に製作していただきました。児童生徒が題材を考えるという実験的な試みもあり、不安要素は沢山ありましたが、大鯨をテーマとした大型ねぶたは、ありがたいことに全国的な反響もあり、応援など多数量りいただきました。能登半島の児童生徒の家族を招待するという企画も同時に行なわれた児童生徒からは、「とても楽しかった。また、参加したい」などの声がかれました。市P連ねぶた事業は、より長く継続していくことや青森が誇る伝統文化を子どもたちに引き継ぐために、今後もより時代にあった運行体制を模索し続けます。また、更なるねぶた参加の増員を図るために常に新しいことへ挑戦し続けて後世につなげられる文化継承を持続したいと思っております。市P連で育った子供たちが将来大人になったときに、他の団体に活躍したり、ご自身の子どもたちとともに市P連のねぶたに再び参加したりできるような団体であり続けたいと思います。

令和6年度青森市P連  
ねぶた事業を振り返って

みんなが安心して暮らせる未来を願った「龍神と大鯨」。能登のみんなに届け！

### CONTENTS

- 1 平和を願う子どもたちの熱く優しいねぶた「龍神と大鯨」
- 2 本当に必要なPTAとは？東北6県が熱くなったPTA東青大会
- 3 みんなが笑顔になった！イベント各種

青森市PTA連合会長 棟方 丈博



令和六年能登半島地震の発生から1年がたちますが、被災地の皆様におかれましては引き続き苦難の中でお過ごしのことと心よりお見舞い申し上げます。  
 私たちは14年前に東日本大震災という未曾有の災害を経験しました。苦しかった当時を振り返り、子どもたちから笑顔が消えないよう、私たちにできることはなんだろうと考えた結果、能登半島地震で被災された子どもたちを「青森ねぶた祭」にご招待することいたしました。  
 おかげさまで、皆様からの温かいご支援、ご協力により、青森市の子どもたちだけでなく、能登半島で被災された子どもたちにも一忘れられない最高の夏を届けることができましたことに感謝申し上げます。  
 また、能登半島の一日も早い復興、そして被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することを祈り申し上げます。

そして、青森市PTA連合会は、児童・生徒たちの健やかな成長を願い、特色ある様々な活動を沢山展開していきたいと思っておりますので、皆さん、これからも一緒にPTA活動を楽しみましょう。



年に2回、教育委員会の皆さまや学校長の皆さま、各学校のPTAの皆さまと総会を開催しております。教育委員会、学校、保護者が一体となって子どもたちを見守り、指導していく意思統一をする場でもあります。

子どもを感動させろ、子どもを感動させるにはおまえ自身が感動しなきゃいかん。そのためには学びをとめるな。～全ては子どもたちの笑顔のために～



東青大会の成功、そしてその先へ

実行委員長 高坂 修



子どもたちが夢や志を持つよう心身ともに健やかに成長できる環境を守り支えるために保護者と教職員が力を合わせるのがPTAです。  
 しかしながら今、保護者の学校依存、教職員業務の形式化により両者の間には少しの隙間が広がっているように感じます。  
 子どもたちの学校環境を守り支えていくためにこの隙間を埋めるために、私たちは相互理解、歩み寄りが必要とします。

第56回日本PTA東北ブロック研究大会 東青大会はPTAの在り方をも含めこの課題に正面から取り組んでいくものです。

青森市教育委員会の皆様、青森市小学校長会ならびに中学校長会の皆様、そしてご参加くださった全ての教職員ならびに保護者の皆様に深く感謝申し上げます。



令和6年9月7日(土)・8日(日)に東北6県のPTAの皆さま、教職員の皆さまなど、1,000名を超える参加があり、それぞれの分科会に分かれて、熱い議論や意見交換が行われました。

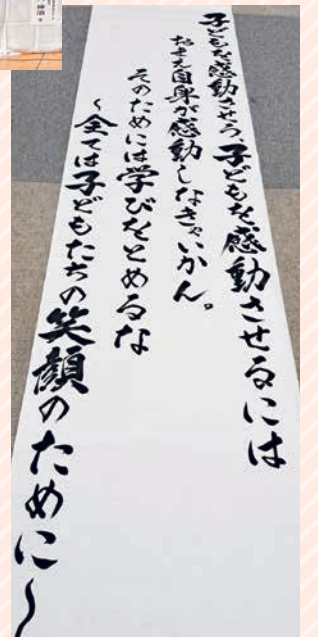
分科会	研究内容
第1分科会 健全育成・家庭教育	家庭や学校が抱える様々な課題へのフォローアップ
第2分科会 教職員によるPTA活用法	教職員のためのPTA活用法
第3分科会 食育と学校環境	食育から考える健やかな子どもの育成
第4分科会 運動部活動地域移行	マルチスポーツの可能性と運動部活動地域移行について
第5分科会 学校統廃合	子どもたちの立場で学校統廃合の実態を考える
特別分科会 組織運営	保護者の本音と教職員の本音、この狭間でPTAが担うべき役割とは



東青大会を振り返って

青森市PTA連合会副会長 山谷 和寿

この度第5分科会の会場責任者及び、全会場の看板制作、アトラクション総監督を務めさせて頂きました。  
 大会を通じたものは何か、PTAの必要性・アナログ的なコミュニケーション、そして、子供達を交える事で子供達の立場で問題を追及する事が出来たと思えます。  
 答えやゴールに向かって様々なカラーで協議出来る楽しさ、それに集う同志、改めて誇りに思える大会となりました。



## 親善バレーボール大会

ママさんバレー  
実行委員長 嶋崎 広樹

青森市PTA連合会パパさん、ママさん親善バレーボール大会を12月1日、三内中学校を会場に開催いたしました。4年ぶりに開催した昨年よりチーム数、参加者数ともに増加し少しでも多くの交流になるようにと対戦方法を検討するなど充実した大会となりました。  
今大会を開催するにあたり、共催として中西部地区の役員の方々、会場校の三内中学校パパ、ママさんのご協力に感謝申し上げます。

### パパさんバレー (全4チーム参加)

- 【優勝】三内中 (2年連続)
- 【2位】大野小
- 【3位】新城小
- 【4位】沖館中



### ママさんバレー (全9チーム参加)

- 【優勝】三内中合同 (2年連続)
- 【2位】筒井中
- 【3位】甲田中・浦町中



### 予選敗退順位決定戦

- 【1位】大野小
- 【2位】筒井中OG
- 【3位】浜田小合同／南中
- 【5位】沖館小・篠田小／荒川合同



保体イベント「親子で○○」  
楽しくて貴重な時間でした

保体委員長 河西 睦

保健体育委員会ではいろんなスポーツに携わって経験していただくために親子と一緒に参加できるイベントを企画し、開催しました。  
昨年に続き大好評で、応募者多数で早くに受付終了してしまったりと嬉しいような心苦しいような事もありました。休日、休みたいところ、子供の為に参加してくれた保護者のみなさん、嬉しそうに楽しそうにいっぱい動いてた子ども達、親子のふれあい、経験値UPに貢献できていたら保体メンバーは嬉しい限りです。

今年度は親子でハンドボール・バレーボール・ドッチボール・ラグビー・筋膜リリース・空手・陸上でした。  
たくさんのご参加、ご協力ありがとうございました。



## 食育研修について

研修委員長 伊藤 愛

今年度、食育研修を4回開催しました。ご家庭でもお手伝いしている子の参加も多く、先生の食育のお話もしっかり聞いてました。お父さんの参加も多かったです。  
食育を通して色々な経験をして知識を学び交流も深め、親子で協力して作った美味しいご飯を笑顔で食べてたのがすごく印象に残っております。ありがとうございました。



## 令和7年市P連囃子方「ねぶた囃子練習会」のお知らせ

青森市PTA連合会囃子方では、ねぶた運行に向け囃子方を充実させ、祭を盛り上げていくため、練習会を早々にスタートしています。詳しい日程やお申し込みは市P連のホームページをご参照ください。



今年もたくさんの笑顔がありました!  
これからも市P連は、  
子どもたちの笑顔のためにがんばります!



令和6年6月にラインメール青森の試合にて、サッカー体験会、市P連ブースなどイベントを行いました。サッカーも楽しみましたが、大抽選会も盛り上がりしました。



児童相談所虐待対応ダイヤル「189」とは・・・

虐待かもと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。「児童相談所虐待対応ダイヤル「189」」にかけるとお近くの児童相談所につながります。通告・相談は、匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。子どもたちや保護者のSOSの声をいち早くキャッチするため、令和元年12月3日(火)午前8時30分より、通話料を無料化しております。

児童虐待かもと思ったら

いち はやく



子育てに関する悩みや不安は児童相談所にご相談ください  
**児童相談所相談専用ダイヤル**  
**0120(189)783**  
 お住まいの地域の児童相談所につながります

表彰

日本PTA全国協議会会長表彰

<個人表彰>高坂 修 (前青森市PTA連合会会長)

東北ブロックPTA協議会会長表彰

<団体表彰>浪岡中学校PTA

<個人表彰>賀田 州一 (市PTA連合会副会長)

阿部 浩志 (市PTA連合会副会長)

棟方 丈博 (市PTA連合会会長)

八重沢順子 (前市PTA連合会副会長)

林 丈夫 (前市PTA連合会副会長)

青森県教育長・青森県PTA連合会会長表彰

<団体表彰>荒川小学校PTA/造道小学校PTA

甲田中学校PTA/東中学校PTA

<個人表彰>岩本 喜雄 (筒井中学校) / 山谷 和寿 (浪岡中学校)

渡邊 一輝 (千刈小学校) / 白鳥 里恵 (荒川中学校)

木津谷春樹 (泉川小学校)

青森市PTA連合会会長表彰

<団体表彰>佃小学校PTA/浪館小学校PTA

浪岡南小学校PTA/本郷小学校PTA

甲田中学校PTA/浪打中学校PTA

第54回広報紙コンクール

	小学校の部	中学校の部
最優秀賞	金沢小学校PTA	南中学校PTA
優秀賞	泉川小学校PTA・大野小学校PTA	筒井中学校PTA
企画賞	甲田小学校PTA	北中学校PTA
グラフィック賞		浪岡中学校PTA
特別賞	浜田小学校PTA	



家庭は教育の原点であり、子どもの健やかな成長と笑顔のために、大人・家庭が果たす役割はとても重要です。

先生方、保護者、PTA、地域住民の皆さんで話し合い、教育活動をサポートし、子どもの健やかな成長と笑顔のために**家庭で大切にしてほしいこと**を7つにまとめました。

子どもの健やかな成長と笑顔を支えるための7か条

第1条 子どもの自己決定を尊重し、自己実現を応援しましょう

●子どもに「自分で決めて実行する」という経験をさせましょう。子どもは成功体験や失敗体験の中から多くのことを学びます。

第2条 子どもとの食事や会話を大切にしましょう

●食事の時間を大切に、子どもの話をじっくり聞きましょう。  
 ●子どもの様子に変化がないかアンテナを広げ、やさしく声をかけることも大切です。

第3条 大人が子どもの手本となって、感謝や思いやりの心を育みましょう

●大人の姿を通して、子どもに「おはようございます」や「ありがとうございます」などの明るい挨拶や、感謝・思いやりの気持ちの表し方を教えましょう。

第4条 子どもに社会のルールや正しい生活習慣を教えましょう

●約束を守る、順番を守る、善悪を区別するなど、**基本的なしつけ**はとても大切です。  
 ●十分な睡眠、毎日の朝食、適度な運動を習慣化し、子どもの健やかな成長を支えましょう。

第5条 子どもに家族の一員としての役割を持たせましょう

●子どもの年齢に応じた役割を持たせ、家庭の中で責任感や協力の大切さを学ばせましょう。その中で**家族の絆**が深まります。

第6条 学校と協力し、ともに子どもを育てましょう

●いじめや不登校などの子どもの問題は、学校と協力しながら解決していきましょう。  
 ●学校と家庭、それぞれの役割を果たしながら子どもを応援しましょう。

第7条 夢や志をもち挑戦する子どもに育てましょう

●文化、スポーツ、ボランティア活動など、多様な人と関わる、人から認められる、人のために行動する、といった体験は子どもの成長にとって、とても大切です。子どもの**夢・志・挑戦**を応援しましょう。

令和6年9月作成



令和6年度 役員紹介

会長	棟方 丈博	古川中学校PTA会長	総務委員長	三國 航	東中学校PTA会長
副会長	須藤香代子	浪館小学校校長	研修委員長	伊藤 愛	千刈小学校PTA副会長
	黒丸 健吾	三内中学校校長	校外委員長	小澤 博之	千刈小学校PTA副会長
	木津谷春樹	泉川小学校PTA会長	広報委員長	本多 大輔	浜田小学校PTA監事
	阿部 浩志	沖館中学校PTA会長	保健体育委員長	河西 睦	古川中学校PTA副会長
	賀田 州一	南中学校PTA会長	ねぶた委員長	須藤 雄大	沖館小学校PTA会長
	山谷 和寿	浪岡中学校PTA会長	ねぶた運行実行委員長	三國 航	東中学校PTA会長
	蠣崎 広樹	筒井中学校PTA監事	ママさんバレー実行委員長	蠣崎 広樹	筒井中学校PTA監事
	白鳥 里恵	荒川中学校PTA副会長	事務局 長	平沢 新一 (R6.5~11)	元青森市PTA連合広報委員長
	渡邊 一輝	千刈小学校PTA副会長		高坂 修 (R6.11~)	前青森市PTA連合会長
	高橋あゆ美	甲田中学校PTA	事務局次長	平山 健一	泉川小学校PTA副会長
顧問	外崎 浩司	元青森市PTA連合会長		吉川 康久	西中学校PTA
	高坂 修	前青森市PTA連合会会長		土屋あゆみ	甲田中学校PTA
参与	貝森 毅彦	元青森市小学校長会会長	事務局員	小島 明子	小湊小学校PTA副会長
				木村 未幸	泉川小学校PTA
				倉内 史恵	幸畑小学校PTA



ありがとうございました

監事 岩本 喜雄

市P連をいよいよ卒業する年が来ました。振り返れば楽しい子供達のために頑張る皆さんと出会えて、本当に楽しい3年間でした。私自身は活動に参加できないことの方が多かったのですが、東青大会のお手伝いしたことはいい思い出になりました。ありがとうございました。



市P連と私

副会長 山谷 和寿

浪岡の金髪会長(笑)と言われて、浪岡地区と旧青森市内の架け橋になればと2年間、副会長を務めさせて頂きました。それぞれカラーが違うメンバーが集結、互いの意見を尊重し合いながら活動している組織、家族のように感じました。その中、沢山の事を学び、沢山楽しませて頂きました。正直もっと早く携わりたかったというのが心残りです。時代は少子化と共にPTA不要論が飛び交っております。ですが子供達には今しかありません。未来を担う子供達の笑顔をこれからも守り続けて下さい。素敵な仲間に出会えて幸せでした。2年間本当にありがとうございました。



あつという間の長い19年

副会長 賀田 州一

長男が小学校入学してすぐに長島島の先輩PTA役員さんから、「学区内の活動でお屋の弁当が出るからねぶたに参加してみませんか？」のお誘いからの市P連での活動19年間。長かった笑。学校統廃合問題や東日本大震災時にはランドセルを集めて被災地に贈ったり、コロナウイルスに翻弄されたり盛り沢山のPTA活動でした。時代の変化に伴い、今後もPTA活動は新しい考え方や活動方法になると思いますが、願いはただ一つ、子ども達に笑顔が溢れるPTA活動でありますように！これまでお世話になった諸先輩方、各方面で支えてくださった皆様に感謝申し上げます。長い間お世話になりました。



とうとう卒業です

副会長 阿部 浩志

例えば2013年保体委員長を拝命して以来、これまでずいぶん長い間市P連で活動させて頂いたいただき、多くの出会いがありました。その一人一人が楽しい思い出として蘇ります。子供の成長と共に自分も沢山の学びを頂いたことに心から感謝申し上げます。少子化が止まらない現代社会における市P連の役割は益々必要とされることと思います。皆さんの更なるご活躍をご祈念申し上げます。

事務局より

半年間のピンチヒッターとして事務局長に任命されましたが、事務局の大変さがよくわかりました。今まで事務局には勝手なお願いをたくさんしていましたがとても反省しております。皆様には多々ご迷惑をおかけしたと思いますがこの場をお借りしてお詫言申し上げます。そしてお世話になりました。ありがとうございました。

事務局長 高坂 修

編集後記

今年もねぶたや様々なイベントなど、子どもたち、保護者の方々、先生たち、教育委員会の皆さま、そしてPTAの同志の皆さんに感謝を申し上げます。去年まで私より小さかった我が子が、今年、目線が同じ高さになりました。あんなに小さかったのに…。保護者の皆さんならそういう思い、時期があると思います。その時に後悔をしないように、いろんなことを話をしたり、何か一緒にやったり。成長を見つ、思い出を作る。そんな思いがPTAの原点ではないかと思う今日この頃です。そんな思い出を持った子どもたちが、自身が大人になったとき、その時の子どもたちに同じ思いを持つことを願って…!

広報委員長 本多 大輔